

■家族の徘徊が心配な人へ

認知症などの影響で道に迷う恐れがある高齢者を、早期発見・保護するための制度を紹介します。

事前登録制度に登録する

高齢者などの身体的特徴や緊急連絡先、顔写真などを事前に登録することで、行方不明時に必要に応じて安中市配信メールや防災無線などで情報を流します。登録された情報や写真は、警察と共有します。



徘徊高齢者等位置情報提供サービスを利用する

徘徊高齢者等事前登録制度の登録者を対象に、GPS機器を貸出します。機器を携帯することで、もしも行方不明になった時、保護者に位置情報を通知することができます。



徘徊高齢者等見守りシール交付事業を利用する

徘徊高齢者等事前登録制度の登録者を対象に、二次元コードが印刷された「見守りシール」を交付します。洋服や所持品にシールを貼っておき、それを発見者が読み取ることで保護者に発見通知が届くとともに、ウェブ上の伝言板でいつでもやり取りができます。



■認知症になっても地域で安心して暮らしていくために

認知症の人と家族が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症の特徴や症状に応じた対応、サービスなどを紹介する「安中市認知症あんしんガイド」を作成しました。

困・悩の各地域包括支援センターで配布しています。

内容

- ・ 認知症とは
- ・ 認知症チェックリスト
- ・ 利用できるサービス
- ・ 相談先 など

詳しくはこちら



■「認知症マフ」に想いを込めて…



「認知症マフ」とは、認知症特有の症状から手元に不安を感じる人が触れたり手を通したりして落ち着けるよう、さまざまな飾りを縫い付けたニット小物のことです。

イギリスでは認知症のケアに使われ、日本でも普及活動が行われています。

松井田町松井田で「ささえあいカフェ smile a smile」（認知症カフェ）を毎月開催している岩井さん。友人から教えてもらい、作り始めた「認知症マフ」。「マフを触ることで心が落ち着いてくれたら良いな」と話します。

10月31日(木)、「あんなかオレンジカフェ」と「smile a smile」の合同で「認知症マフ」をつくりまします。興味のある人はぜひご参加ください。